

お知らせ

・日本造血細胞移植学会の一元化登録データ（TRUMP データ）もしくは PIDJ（Primary Immunodeficiency Database in Japan）の登録にご協力頂いております医療施設および同意をいただいた患者様およびその代替者の方々へ

2017 年 1 月 31 日

日本造血細胞移植学会遺伝性疾患ワーキンググループ

東京医科歯科大学

発生発達病態学分野

柳町昌克

Primary Immunodeficiency Database in Japan (PIDJ)

東京医科歯科大学

茨城県小児・周産期地域医療学講座（寄附講座）

今井耕輔

日本造血細胞移植学会では、一元化登録データ（TRUMP データ）にご登録いただいた造血細胞移植に関するデータを解析することで、治療成績の向上やガイドラインの作成を目指して、ワーキンググループ (WG) が活動しております。

遺伝性疾患 WG では、「**慢性肉芽腫症に対する同種造血細胞移植の成績・TRUMPdata の解析**」という研究課題で、日本において 2014 年までに施行された慢性肉芽腫症に対する造血細胞移植の成績を解析することで、治療成績の向上やガイドラインの作成を目指しております。本研究は東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認（M2016-173）を得ています。

慢性肉芽腫症の臨床情報（遺伝子型などを含む）は PIDJ のデータベースに詳細に登録されており、TRUMP データと PIDJ データを統合することでより詳細に慢性肉芽腫症に対する移植成績を検討することが可能になり、次世代の患者様の治療に役立つと期待されます。

この TRUMP データと PIDJ データの統合作業には、移植日と生年月日を用いますが慎重な情報管理を行いますので個人情報流出の危険性は最低限と考えております。但し、本研究「**慢性肉芽腫症に対する同種造血細胞移植の成績・TRUMPdata の解析**」へのご協力を希望されない患者さま及びその代替者の方々は下記にご連絡頂くことで、解析対象から除外させて頂くことが可能です。

今後の慢性肉芽腫症の治療成績向上に向けて、重要な研究ですので皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

お問い合わせ

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野 柳町昌克
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
電話：03-5803-5249（ダイヤル）（平日9:00～17:00）FAX：03-5803-5246

参考情報

●日本造血細胞移植学会HP

http://www.jshct.com/organization/ichigen_wg.shtml

●Primary Immunodeficiency Database in Japan (PIDJ)HP

<http://pidj.rcai.riken.jp/>